

博士課程教育リーディングプログラム 平成23年度プログラム実施状況報告書

採 択 年 度	平成23年度		
プログラム名	グローバル環境システムリーダープログラム	申請大学長名	清家 篤
申請大学名	慶應義塾大学	プログラム責任者名	真壁 利明
申 請 類 型	複合領域型（環境）	プログラムコーディネーター名	清木 康

<プログラム進捗状況概要>

1. プログラムの目的・大学の改革構想

本プログラムは、実世界の環境である“実環境空間”を監視・制御するハードウェア技術と、環境変化の原因・影響を計量する“情報環境空間”を連結・連動させる技術と社会ルールにより、グローバルな環境変化を発見、分析、対応するグローバル環境システムを創出できる人材育成を目的とし、環境、エネルギー、ICT、政策、国際関係、社会システムの各専門領域を統合し、全学的国際化体制の下でグローバル環境システムの実現を先導する未来社会創造型のリーダーの育成拠点を形成するものである。そのために、本プログラムは、国際的な高水準大学・研究機関、および、環境問題を抱える地域の国際的大学・研究機関との、遠隔と対面との融合による国際トレーニング科目として、国際フィールドワーク科目、および、実践的インターンシップ科目を設定し、研究教育指導を一貫して行う国際産・学・NPO連携研究指導体制を確立する。

2. プログラムの進捗状況

平成23年度のプログラム進捗状況として、国際産・学・NPO連携研究指導体制の運用制度の制定、国際トレーニング制度の実現のための連携大学・研究機関のネットワーク構築、グローバル環境システムリーダー育成のためのカリキュラムを作成した。具体的には、本プログラムの育成基準を明示するサティフィケートとして、「グローバル環境システムリーダー（修士）」、および、「グローバル環境システムリーダー（博士）」を定めた。また、国際トレーニング制度として、（１）国際的な高水準の学修・研究指導の連携先機関である米国・プリンストン大学、英国・ケンブリッジ大学、フィンランド・タンペレ工科大学との提携交渉を進め、（２）実際の環境問題を抱える地域の連携機関であるAsia Pacific Adaptation Network (APAN) と交流協定を締結し、共同研究の実績のある大学・研究機関・企業・NPO法人であるインドネシア・スラバヤ工科大学、タイ国立計算技術センター (NECTEC) との提携交渉を進めた。グローバル環境システムリーダー育成のためのカリキュラム作成としては、本プログラムが目標とする４種類のリーダー像（大規模システムプロフェッショナル、科学技術政策・経営プロフェッショナル、環境政策プロフェッショナル、環境情報システムプロフェッショナル）に対応する４科目（大規模環境システム構築法、グローバル環境政策特論、環境技術政策特論、環境情報システム構築法）を設計した。